



# 特定非営利活動法人 五環生活 第16期(2021年12月度)通常総会

日時:2022年3月3日(木)18:30~20:00  
場所:彦根市民交流センター(彦根市里根町163-1)

1. 代表理事あいさつ

2. 審議

▼ 議案

第1号議案 第16期(2021年1月~2021年12月)事業報告

第2号議案 第16期(2021年1月~2021年12月)会計決算報告

第3号議案 第17期(2022年1月~2022年12月)事業計画

第4号議案 第17期(2022年1月~2022年12月)会計予算

第5号議案 定款変更

第6号議案 役員改正

3. 役員あいさつ

## 第1号議案

**第16期(2021年12月度)事業報告**  
2021年1月1日から2021年12月31日まで

特定非営利活動法人 五環生活

**1. 事業の成果****概要**

第16期(2021年12月度)は、コロナ禍2年目としての活動・営業となったが、依然として新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け続け、レンタサイクル事業の売上は前年比96.47%でほぼ横ばい、業績回復に至らなかった。事業支援につながりそうな補助金や助成金は可能な限り活用したが、これもコロナ禍の状況に左右される部分が出て効果を最大限にすることが難しかった。一方で、サイクリングはコロナ禍においてもアウトドアでのイベントや観光促進に取り入れやすいことが認知されたため、とくにサイクルイベント事業において五環生活の実績を頼みに新規に依頼を受けることが増えた。これらを前年度からの新体制で挑んで来たが、自主事業として新たな展開に進むことが出来なかったため、次年度以降の目標としたい。

**1) 自転車タクシー運営事業**

第12期に事業休止とした。

**2) レンタサイクル運営事業****2-1 概要**

2021年度の「びわこ一周レンタサイクル」の営業は2021年2月20日から12月14日まで行った。更なる感染症対策として、利用客同士の距離を保つため受付テーブルを2脚購入し最大4ヶ所で接客出来るよう整えた。年間を通して以前コロナ禍である状況は変わらず、緊急事態宣言が繰り返されては自粛で県外への外出を控える傾向が続き、営業中の利用者数は前々年度(2019年度)の58.15%にとどまったうえに、前年度(2020年度)よりも悪く、前年度の97.34%であった。これは前年に比べ週末や連休に天気が良くなかったことも影響している。人件費節約のため臨時休業も計26日間行った。売上では、前年の96.47%、前々年の9.33%となった。

一方で、コロナ禍においても楽しめるアウトドアアクティビティとして注目されたことで、米原駅サイクルステーションの運用についての問い合わせや視察が県内外からあった。旅行雑誌等においてもサイクリング特集を組もうとする傾向があり取材対応や写真提供を行うことが多かった。サイクリングがより自由度が高い旅行手段および旅行目的になり、宿泊施設利用者における割合も増えてきたためか、県内宿泊施設でも「サイクリストに優しい宿」を目指しそのプロモーションに使う自転車としてレンタサイクル車体貸出の要望があり対応した件もあった。

**2-2 「びわこ一周レンタサイクル」利用者について**

前年(2020年1月～12月)と比べ、利用者数は40人減の1,463名であった。これは2019年度比1,053名減、2018年度比1,185名減であり、昨年度同様コロナ前水準の55～58%にとどまっており依然厳しい状況が続いている。利用者の多い都道府県は、1位大阪(20.2%▼2.5%)、2位滋賀(16.3%▼1.0%)、3位愛知(13.2%△2.9%)、4位東京(12.7%△4.8%※前年6位)、5位京都(6.6%▼2.7%)、6位兵庫(7.5%▼0.9%)で、その他は各5%未満、沖縄、鹿児島、宮崎、佐賀、大分、島根、鳥取、香川、徳島、高知、山梨、群馬、山形、秋田、青森は0であった。外国人観光客の利用は昨年度に引き続き途絶えている。国内利用に含めているが、在日外国人の利用は45組(△24組)あった。年齢層別利用は、10代5.5%、20代32.2%、30代19.

1%、40代13.9%、50代8.7%、60代4.1%、70代1.7%、不明14.7%であった。利用形態としては、ひとり利用が42.1%、友人同士のグループ利用が31.6%、カップルまたは夫婦のみの2人利用が15.9%、子どもを含む家族利用は9.4%、仕事の同僚との利用が1.1%という結果になった。利用目的は、琵琶湖一周が71.0%、その他観光が26.3%、お連れ様分としての利用が2.0%、試し乗りが0.7%であった。また、利用者のうち92.2%が初めての利用、2回目は4.7%、3回目は0.8%、5回目0.1%、5回目以上または頻度不明が2.1%であった。利用日数は2日間が最も多く53.9%と半数以上を占める。次いで1日利用27.5%、3日以上が16.3%となった。

### 2-3 自転車物品販売

2021年6月21日を契約日として五環生活と株式会社フカヤとで自動販売機設置契約書を締結し、北近江リゾートにサイクルパーツ自販機を設置した。設置場所がピワイチルートから離れていることから利便性に疑問があったが、契約期間1年間様子を見ることとした。12月までの販売個数は6個であった。契約書には「契約期間満了の3ヶ月前までに通知」されない場合はさらに1年間延長となるため、2022年3月21日までに継続可否を判断する必要がある。

### 2-4 「令和3年度第2期 滋賀県スポーツサイクルレンタル助成事業」参画

前年度に続き、滋賀プラス・サイクル推進協議会の滋賀県スポーツサイクルレンタル助成事業に参画した。

当初、滋賀県民に限らず県外利用者も対象であったが、第1期の事業開始予定であった4月に近隣府県の緊急事態宣言等を受け開始前に事業停止された。その後感染状況が落ち着きを見せたタイミングで7月1日から第2期の事業が開始されたが、対象者は県内居住者に限定されたままであった。第2期の事業期間は12月31日までの6カ月間で、びわこ一周レンタサイクルで利用があったのは、期間中利用者総数907名中105名(11.6%)、助成金額は339,890円であった。前年度の滋賀県民限定事業では14.6%の利用率だったため、前年度に比べても利用が低かったと言える。

### 2-5 輪の国びわ湖推進協議会自転車通勤体験車体リース

(一社)輪の国びわ湖推進協議会が滋賀県交通戦略課の「滋賀県自転車通勤体験事業」を受託し、五環生活がこの事業に使用する車体を購入・整備しリースする作業を受注している。2019年度からの継続事業で3年目の2021年3月末で事業終了となる。毎年、数台の使用車体が体験者によって購入されており、自動車や公共交通通勤から自転車通勤へのシフトに貢献出来た事業であった。2021年度は4社7台が体験されている。

### 2-6 大津港サイクルステーション設計・整備業務への応募

大津市観光振興課より6月に「大津港サイクルステーション設計・整備業務」の公募が発表され、五環生活とDEWKSでグループ応募した。結果、不採用となり、県内2カ所目の「ピワイチのゲートウェイ」サイクルステーションが他事業者により運営される。場所が米原駅サイクルステーションとは対極の大津港であるため、ビギナーにも易しい北湖一周は不可である点を含め米原駅の方が利点は多いと言えるものの、広報次第で顧客が流れる可能性は大いにある。2022年夏頃オープン予定であり、様子を見つつも米原駅サイクルステーションの更なる魅力発信に努める必要がある。

### 2-7 旅行会社のサイクリングツアー商品のレンタサイクルとして

タビックスジャパンのサイクリングツアー商品の中で米原駅サイクルステーション発のレンタサイクルを組み入れたものが販売され、近江ツーリズムボードの仲介で予約、精算を行うシステムが試行された。タビックスジャパンでの販売は8月16日から12月まで行われ、9月21日に1件利用があった。同じような形態の商品企画の提案が平和堂旅行センター経由でJTBからあったが実際に商品化されるかは本日現在不明である。これらのことから、旅行会社が個人客向けにレンタサイクル込みのツアー商品を販売していることがわかり、団体旅行から個人旅行へシフトしたコロナ禍における特徴的な動きがみられる。

### 3) サイクルイベント事業

#### 3-1 概要

新型コロナウイルス感染症流行の影響で今年度もイベントは自粛気味であった。H&S(平和堂&サントリーフーズ)の「親子ビワイチ体験」イベントも日程変更や延期を検討されたが結局不催行となった。前年秋に五環生活からめぐりんこ車体とサイクルガイド、サポートカーを提供した近江ツーリズムボード主催の「そのばkitchen」が今年度11月にも企画されたが今回ガイドとサポートカーの要請はなく車体レンタルのみであった。2回企画されたが、第二回は荒天のため催行されなかった。ツアー会社の商品としてのサイクリングツアーの企画も3件あったが、平和堂旅行センターのビワイチプラスは6本中いずれも不催行、南海国際旅行のビワイチツアーは10月末と11月中旬催行予定であったが応募状況があまりよくなく1カ月前にキャンセルされた。唯一近江トラベルの以下3-3のツアーは催行された。以下の他の3件については、モニターツアーへの車体提供やサイクルガイド、サイクルイベントでのメカニック要請に応じたものになる。いずれにおいても要請された任務・役割を全うすることが出来た。

#### 3-2 ガチャプロ! KOTOSPOT 試行ツアー

近江鉄道鉄道部が滋賀県交通戦略課のバックアップを得ながら国の補助金を使って近江鉄道の利用促進をはかるため企画された。同時期に五環生活の企画実施で開催していた湖東周遊促進事業(サイクル周遊促進事業)の「KOTOSPOT」と連携してツアーを試行したいと企画段階より相談があり、コース設定から試走(下見)、当日のガイドまで請け負った。当日2月27日は、風は強かったが晴れて無事催行することができた。参加者12名に対し五環生活からガイド4名を出した。

#### 3-3 近江トラベル経由の社員研修サイクリングツアー

近江トラベルが愛知県の会社に研修旅行プランを提案し、第一日目の旅程がサイクリングツアーとなった。新人社員25名の研修であるためびわこ一周レンタサイクルに25台の車体レンタルとサイクルガイド3名のオファーがあった。11月5日にサイクルージングと組み合わせて米原発今津着で行われた。スポーツバイクに不慣れな社員がいても行程と走るコースの工夫で楽しむことが出来ることを実証できたと思われ、今後の企業向け提案に活かせる実績となった。

#### 3-4 愛荘町スイーツライド2021

愛荘町が地方創生推進交付金事業としてサイクルロゲイニングを用いたスイーツ巡り周遊企画を公募した結果エフエム滋賀が受託し実行委員会制で実施された。五環生活も実行委員会に入り参画し、イベント当日の自転車安全講習とイベント中自転車不具合等への応急措置対応を担当した。11月20日に好天の下開催され自転車関連のトラブルもなく好評を得た。

#### 3-5 北近江観光(株)主催「賤ヶ岳ハイク&バイク」

新木産業(株)の旅行事業として運営している旅行会社北近江観光(株)が国の補助金を使ってインバウンド向けツアーの開拓を行い、賤ヶ岳のハイキングと最寄り駅往復のサイクリングをドッキングしたモニターツアーが企画された。日照時間の短い時期の開催であったにもかかわらず、12月9日、12月23日の両日も好天に恵まれた。五環生活としては、当日のサイクリング部門において自転車の配送・配備を行った。

#### 4) コンサルタント事業

##### 4-1 滋賀プラス・サイクル推進協議会

2021年4月より改めて「滋賀プラス・サイクル推進協議会」の会員となり、ツーリズムワーキングにて情報共有の場に参加できるようになった。今年度も「ビワイチプラス応援イベント」を受託し実施した。今回は2回に分けての開催を企画し、第1回を「ビワイチ体験スクール」として会場内をインストラクター付きでグループライドを行いスポーツバイクの扱い方や安全な走行について学ぶ機会とした。第2回は、「スポーツバイク試乗体験会」とし、子どもやファミリー層から熟練層まで幅広く関心を寄せられるよう多種多様なスポーツバイクを用意して試乗体験を提供した。予定されていた第1回の日程がコロナ感染の状況により延期となったが、緊急事態宣言明けの10月2日・3日に第2回と合わせて2日間連続で行うことになった。暑いぐらいの好天に恵まれ、会場である希望ヶ丘文化公園は多くのファミリー層で大変賑わっていたため、両イベントも大盛況だった。「ビワイチ体験スクール」は43名の参加、「スポーツバイク試乗体験会」は両日通して283名に体験してもらえた。

このほか、4月21日～5月11日に行われた草津近鉄百貨店でのビワイチ特設展示にmacchi cycles 特製フレームのオリジナル車体を展示用と試乗用2台の提供、8月1日の「大津エコフェスタ」に自転車発電で出展、11月5日～6日に協議会とびわこビジターズビューローが共同出典した東京「Expat Expo」にて外国人来場者に対する抽選会景品としての「レンタサイクルペア券」の作成も協議会の補助金や予算で実施した。

##### 4-2 彦根市レンタサイクルめぐりんこ

前年と同様、彦根駅前サイクルステーションと河瀬駅前サイクルステーションは年末年始休業を除いて通年営業、京橋口サイクルステーションは火曜水曜定休と12月から2月まで3カ月間冬季休業を行って営業した。ここでも利用者数は全体的に前年度よりも伸び悩んだ。一方で、各拠点への乗り捨てが前年よりも盛んに行われ、回収作業の頻度が増した。

##### 4-3 湖東周遊促進事業(サイクル周遊促進事業)

びわこ湖東路観光協議会の令和3年度「着地型観光推進事業」のひとつ「湖東周遊促進事業(サイクル周遊促進事業)」を受託し、滋賀県を代表するコンテンツの一つである「飛び出し坊や」を活用してレンタサイクルの利用促進につなげる企画を実施。今回は特に採択決定が遅く事業開始も遅れてシーズンオフの12月1日スタートとなってしまった。12月の利用実績は8件。3月末まで行うが、今冬は特に雪も多く低温が続いているためサイクリング観光客を呼び戻すこと自体が更に困難になることが予想される。特にSNSで人気を呼ぶことを狙ったコンテンツでもあるので、SNSを活用した広報活動で周知に努め、利用促進につなげたい。



#### 5) 五環カフェ(情報交流の場づくり)・五環ワークショップの企画運営事業

2019年まで県立視覚障害者センターとの共同開催でまっくらカフェを実施してきたが、出展先の「彦根人権のまちづくりフェスタ」がコロナ禍により2020年より不催行となっている。また、県立視覚障害者センター所有のタンデムを一年以上未使用のまま預かり保管していたところ、センターより返却の希望があったため、県立盲学校で借用されていた分も含め2021年5月に引き取っていただいた。

#### 6) 五環生活に関する商品の開発・普及啓発事業

レンタサイクル事業「びわこ一周レンタサイクル」の新たな顧客獲得のため、滋賀県経営力強化支援事業に申請し、4月に新しくリーフレットを作成し、県内外各地に4,570部配布した。また同じ事業で「びわこ一周レンタサイクル」のプロモーション動画も作成し、春以降に販促ツールとして活用する予定である。この事業では、経費のうち9/10が補助された。

日常的な広報活動はSNS(Facebook、Instagram)を更新することで行った。Instagramでは今年度前半でフォロワー1,000人を突破した。五環生活アカウントでも受託事業のイベント告知や報告を行い情報周知の手段として活用した。米原駅サイクルステーションオープン当時から常時設置しているオリジナル飛び出し坊やは人気で、通りすがりの一般の通行人が撮影して勝手に拡散してくれるという効果をもたらしている。

#### 7) その他

コロナ禍により落ち込んだ経済基盤の今年度中の復調は困難であることを予測し、今年度も従業員の計画的休業を実施し人件費節約に努めたと同時に厚生労働省の雇用調整助成金の申請も引き続き行った。また、滋賀県や米原市から交付される新型コロナウイルス感染症の影響に伴う経営悪化を支援する各種補助金や支援金を申請し、レンタサイクル事業販路拡大のためのリーフレットや動画制作費用、QRコード決済事業継続資金に充当させたりなどして活用した。

今年度初期に役員の変更登記を申請したところ、2年前の重任登記が出来ていないことや任期のずれが生じていることが判明し、法務局に指導を受けながら3月23日に登記を完了することが出来た。法務局からは、次回総会時に役員の任期伸長を定める定款変更を行うように勧められた。

## 2. 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
自転車タクシー運営事業	事業休止	休止		0名	通常運行: 0名	0
レンタサイクル運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・びわこ一周レンタサイクル 2/20～12/14の約10カ月間営業。臨時休業26日間。県のレンタサイクル助成金に参画。</li> <li>・自転車物品販売(サイクルパーツ自販機設置)</li> <li>・(一社)輪の国びわ湖推進協議会「滋賀県自転車通勤体験事業」車体リース(車体手配・整備)</li> </ul>	通年	県内	4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>びわこ一周レンタサイクル利用: 1,463台</li> <li>・サイクルパーツ自販機販売数: 6個(7月～12月)</li> <li>・自転車通勤体験参加者: 7名</li> </ul>	16,148
サイクルイベント運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガチャプロ! KOTOSPOT試行ツアー2/27(ルートクリエイト、サイクルガイド)</li> <li>・「愛荘町スイーツライド2021」11/20(メカニック)</li> <li>・北近江観光(株)「賤ヶ岳ハイク&amp;バイク」1(モニターツアー)12/9・12/23～23(レンタサイクル、車体配送)</li> </ul>	通年	県内	5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガチャプロ! KOTOSPOT試行ツアー参加者: 12名</li> <li>・「愛荘町スイーツライド2021」参加者: 65名(ヘルメットレンタル8名)</li> <li>・北近江観光(株)モニターツアー参加者: 各回9名</li> </ul>	55
コンサルタント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀プラス・サイクル推進協議会ビワイチプラス応援イベント10/2・3(イベント企画運営)</li> <li>・彦根市レンタサイクルめぐりんこR2年度[2021/1/1～3/31]R3年度[2021/4/1～12/31](レンタサイクル管理運営)</li> <li>・びわこ湖東路観光協議会湖東周遊促進事業「アイテム持参で! 飛び出し坊やを探せ」2021/12/1～12/31(～2022/3/31まで)(イベント企画運営)</li> </ul>	通年	県内	6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビワイチプラス応援イベント参加者: 1日目「ビワイチ体験スクール」43名 2日間「スポーツバイク試乗体験会」 283名</li> <li>・彦根市レンタサイクル利用(2021/1/1～12/31): 駅前1,548名 京橋384名 合計1,932名</li> <li>・びわこ湖東路事業イベント参加者(12/1～12/31): 8名</li> </ul>	5,521
五環カフェ・五環ワークショップ企画運営事業	イベント中止により未実施。	通年	県内	1名	その他:0名	0
その他事業・総務部	雇用維持および役員体制の整備。	通年	県内	2名	休業手当受給者: 6名	2,412





# 特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

特定非営利活動法人 五環生活  
全事業所

[税込] (単位: 円)

自 令和3年 1月 1日 至 令和3年12月31日

## 《経常収支の部》

[経常収支の部]

【経常収入】

事業収入 (課税対象)	13,423,519
委託金収入	7,774,993
助成金収入	447,629
正会員会費収入	55,000
休業手当負担金収入	4,271,860
補助金収入	575,050
諸謝金収入	15,000
雑収入	18,985
受取利息収入	39
経常収入 計	26,582,075

26,582,075

【事業費】

期首棚卸高	47,266
期首商品・製品棚卸高 計	47,266
外注費	2,137,281
諸謝金 (事業)	7,971,414
通信費 (事業)	361,088
荷造運賃 (事業)	138,291
旅費交通費 (事業)	1,084,087
広告宣伝費 (事業)	433,866
会議費 (事業)	2,000
備品消耗品費 (事業)	1,368,288
印刷経費 (事業)	76,325
修繕費 (事業)	31,870
車両維持費 (事業)	543,627
保険料 (事業)	235,700
租税公課 (事業)	854,844
貸借料 (事業)	116,325
支払手数料 (事業)	22,550
給料手当	6,708,976
法定福利費	1,503,565
雑費 (事業)	545,260
当期事業費 計	24,135,357
合計	24,182,623
期末棚卸高	△ 44,445
期末商品・製品棚卸高 計	△ 44,445
事業費 計	24,138,178

24,138,178

【管理費】

給料 手当	1,031,400
福利厚生費	15,703
通信費	7,011
水道光熱費	23,841
修繕費	82,720
地代家賃	542,175
保険料	25,740
租税公課	72,200
諸会費	59,890
支払手数料	3,300
管理諸費	77,000
支払利息	252
管理費 計	1,941,232

1,941,232

経常収支差額

502,665

当期正味財産増加額

502,665

前期繰越正味財産額

2,606,125

# 特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

特定非営利活動法人 五環生活  
全事業所

[税込] (単位: 円)

自 令和3年 1月 1日 至 令和3年12月31日

当期正味財産合計

3,108,790

## 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人 五環生活  
全事業所

【税込】(単位:円)  
令和3年12月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		未 払 金	3,581,535
現 金	856,232	前 受 金	3,571,934
ゆうちょ口座	48,618	未払消費税	610,100
普通預金りそな	43,427	納税充当金	155,432
普通 預金(彦根支店)	7,916,612	流動負債 計	7,919,001
現金・預金 計	8,864,889	<b>負債の部合計</b>	<b>7,919,001</b>
(売上債権)		<b>正 味 財 産 の 部</b>	
未 収 金	2,103,582	<b>【正味財産】</b>	
売上債権 計	2,103,582	正味 財産	3,108,790
(棚卸資産)		(うち当期正味財産増加額)	502,665
棚卸 資産	44,445	正味財産 計	3,108,790
棚卸資産 計	44,445	<b>正味財産の部合計</b>	<b>3,108,790</b>
(その他流動資産)			
前払 費用	14,875		
その他流動資産 計	14,875		
流動資産合計	11,027,791		
<b>資産の部合計</b>	<b>11,027,791</b>	<b>負債・正味財産の部合計</b>	<b>11,027,791</b>

# 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人 五環生活  
全事業所

[税込] (単位: 円)  
令和3年12月31日 現在

## 《資産の部》

### 【流動資産】

(現金・預金)

現金

856,232

ゆうちょ口座

48,618

普通預金りそな

43,427

普通預金(彦根支店)

7,916,612

現金・預金 計

8,864,889

(売上債権)

未収金

2,103,582

売上債権 計

2,103,582

(棚卸資産)

棚卸資産

44,445

棚卸資産 計

44,445

(その他流動資産)

前払費用

14,875

その他流動資産 計

14,875

流動資産合計

11,027,791

資産の部 合計

11,027,791

## 《負債の部》

### 【流動負債】

未払金

3,581,535

前受金

3,571,934

未払消費税

610,100

納税充当金

155,432

スタッフ源泉所得税

(155,432)

流動負債 計

7,919,001

負債の部 合計

7,919,001

正味財産

3,108,790